

『小江戸川越まち歩き公式ガイドブック』第3刷 訂正箇所表

(平成25年12月18日現在)

※平成22年10月15日に刊行しました第3刷について表記の誤り・現状との差異が出ている部分がございますので、下記の通り訂正させていただきます。

p.39 地図D1 「小江戸川越観光協会」の位置 : C1にある「札の辻」交差点の近く(元町郵便局の札の辻方面に斜め向かい・元カニヤ時計店1階)に移転。

地図B4 「醸ん楽座」の位置 : 地図的に見て下方向・二叉路の下方向すぐがおおよそ正しい位置。

p.40 「(社)小江戸川越観光協会」の写真を削除 : (移転している為、正確ではない)

p.40 「(社)小江戸川越観光協会」の位置説明 : (旧)C2 → (新)C1

p.54 「妙養寺」1枚目の写真下部にあるキャプションを削除 : (断定的な表現があった為)

p.54 「妙養寺」の説明文1行目

「幕末の三筆家として、5,000人もの弟子を数えたという」の部分を削除 (市河米庵の説明が誤って入っていた為)

p.68 【削除】道ばたに並ぶポプラの木との景観がいい感じ。 【追記】ポプラの木は現在伐採されております。

p.71 「川越城中の門堀跡」の表題部分 : (誤)川越城中の門堀跡 → (正)川越城中ノ門堀跡

「川越火力発電所跡」(誤)電気鉄道 → (正)川越電気鉄道

p.80 「小仙波日枝神社」の説明部分 : 上から6行目 「かつては」より後の説明を全て削除 (この講堂の説明は旧喜多院領にあった講堂(本地堂瑠璃薬師殿)の説明のため、この項目での説明としては不適切な為)

p.80 「小仙波日枝神社」の下にあるちから試しを削除し、「仙芳仙人塚・本地堂瑠璃薬師殿跡」の項目を設置

下記の説明を掲載(小仙波日枝神社の説明を一部修正して掲載)

かつて大きな領地を持っていた喜多院は、仙芳仙人の法力で海の水を干上がらせて建てたと言う伝説があり、仙芳仙人の碑が建てられている。

その近くには、明治9年の戊辰戦争の時に焼け落ちた寛永寺本堂を再建する為にこの地を離れた喜多院講堂(「本地堂瑠璃薬師殿」とも呼ばれる)の跡地を示す石碑が建てられている。喜多院講堂は、寛永の大火で一度は焼失したものの、他の建物と共に徳川家光によって再建された。

p.84 灌頂院の3枚目の写真を削除 : (p.83 一乗院の1枚目の写真と同一)

p.116 C4 の「県立盲学校」の名前 : (旧)県立盲学校 → (新)県立特別支援学校塙保己一学園

p.135 川越城歴代城主一覧表の江戸時代左側1行目 : (誤)秋元 涼朝 → (正)秋元 涼朝

p.135 川越城歴代城主一覧表の江戸時代左側一番下 : 松平 康載を「明治時代」として分離(時期的に見て、明治時代である為)

p.136 14行目 酒井 重忠 の関連事項 (誤)徳川幕府の初代川越城主 → (正)徳川家240万石の初代川越城主

28行目 高山 繁文 の関連事項 (誤)秋本 喬朝 → (正)秋元 喬知

p.137 21行目綾部利右衛門 の関連事項 (誤)川越鉄道 → (正)川越電気鉄道

p.146 下から3行目の見どころ「川越城中の門堀跡」 : (誤)川越城中の門堀跡 → (正)川越城中ノ門堀

p.146 上から29行目 の関連事項 (誤)川越鉄道 → (正)川越電気鉄道